

(株) 田近工務店 公共 通常砂防事業(翌債)工事

(工期 : 平成25年3月22日～平成25年10月3日)

現場代理人・主任技術者 木口 啓基

① はじめに

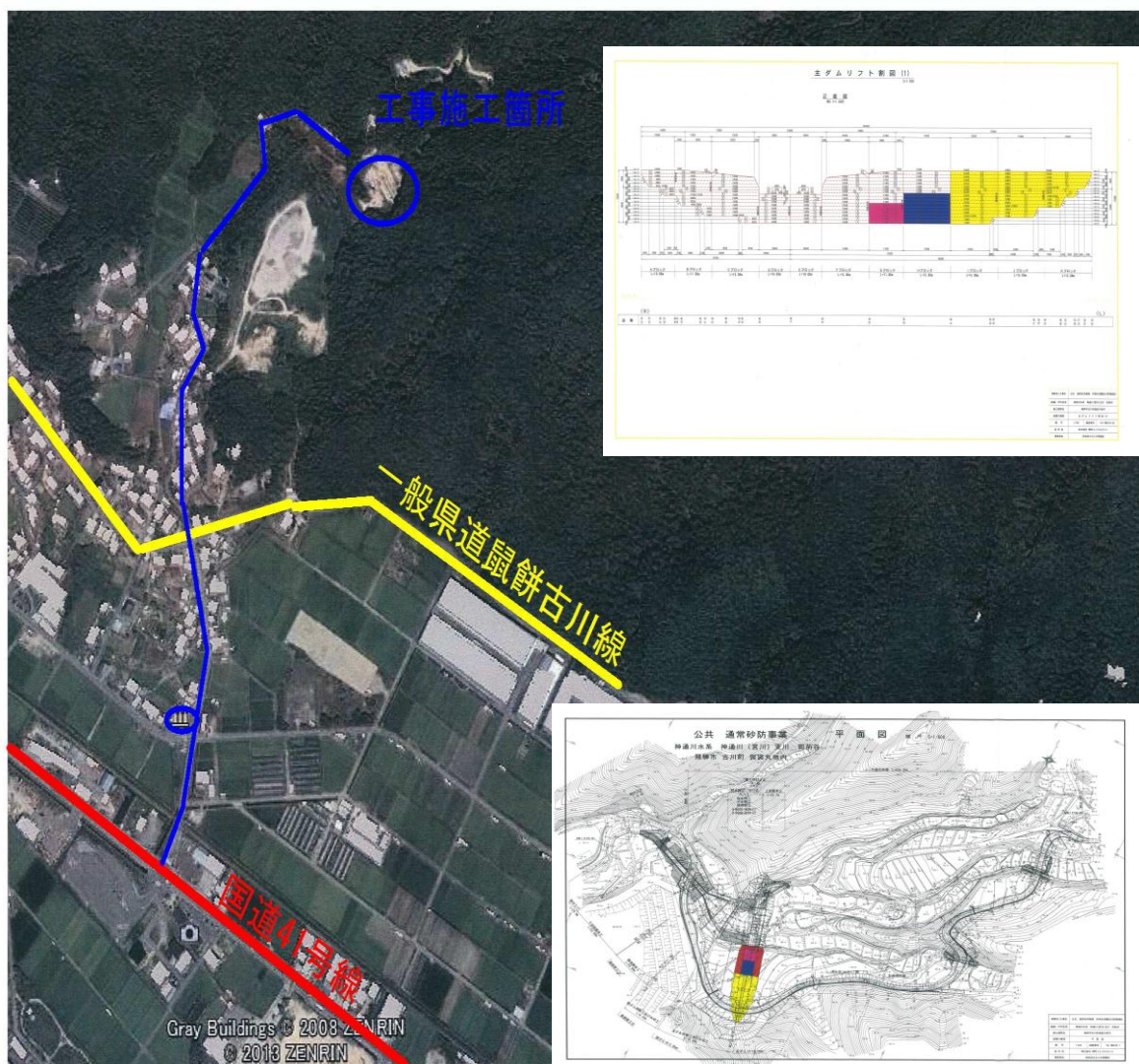
本工事は、神通川水系 神通川(宮川)支流の岡前谷(飛騨市古川町杉崎地区)に砂防堰堤を築堤し、岡前谷下流域で生活される住民の土石流災害より守ることを目的とした工事です。本年度工事では、機械掘削 $V=3520\text{m}^3$ 及び本堤の一部を構築する工事となります。

本論文では工事施工の安全管理のため本工事で行った創意工夫を記述します。

② 工事概要

工事概要については、

1) 砂防堰堤工 $L=143.5\text{m}$ 、 $H=8.5\text{m}$ 、 $V=7755\text{m}^3$ (今回 $V=V=1.450\text{m}^3$)



③ 現場における課題とその対策

本工事の施工に伴い、以下の課題を重点項目としました。

【課題1】掘削作業時における濁水処理

掘削作業開始前に濁水処理計画を行なったところ濁水をそのまま河川に搬出すると下流域での水質悪化が生ずるためポンプ排水で沈砂池で濾過を行い蒸留水をそのまま河川に戻さず当社の所有地に搬出を行い河川の水質悪化防止が行えました。



【課題2】屋外作業の熱中症対策

堰堤工施工時期5月初旬から工事完了の9月後半までの熱中症による災害防止対策を次の通り行いました。



*掲示板による熱中症警戒を促した



*熱中症チェックリスト

作業しやすい環境を整えるため作業開始前に予定最高気温及び湿度をインターネットで検測し掲示表にその日の熱中症対策掲示表に提示しました又現場内気温測定を随時行うことによりこまめに休憩又水分補給を行うことで高温時の作業環境の把握が行えました。



*水分補給用冷蔵庫の設置



*塩分補給用熱中アメ

作業工程の工夫を行い適切な時間に休憩時間の確保及び作業中の塩分・水分の採取の徹底を図りました。

まとめとして朝礼時熱中症予想掲示表による気温及び湿度の掲示を行い、作業場での温度管理徹底又こまめな休息と水分補給を行いこと及び熱中症対策を学習するため熱中症対策講習の受講又作業環境測定表を作成しの改善を行った結果熱中症による労働災害防止がおこなえました。

【課題3】労働災害防止症対策

作業時に発生する労働災害の防止のため適切な処置を行うための安全管理の工夫をおこないました。



月間社内安全教育実施時に来月の危険要素の模索及びヒヤリハットの報告及び対策を行いました。

*外部講師による安全教育



*ヒヤリハット報告事例

*報告後の対策

月間社内安全会議開催時翌月の作業内容で起こりうる災害への対策及び作業時に「ヒヤリ」とした経験を報告してもらい一人一人の意見を聞くことにより安全作業に対する意識の向上を行った。また、ヒヤリハット報告を習慣とすることで、ひとりひとりが安全対策についての意識を高め、みんなで危険に対する認識を共有し、お互い学びあうこともできました。

【課題4】資材搬入時の安全確保及び地元住民とのコミュニケーション

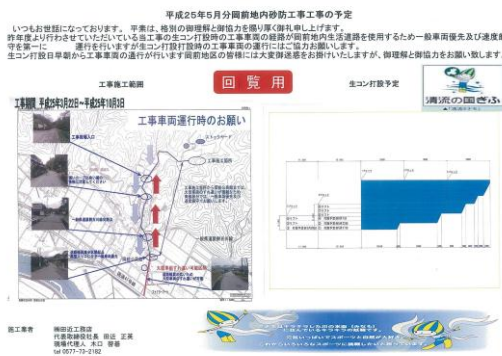
工事施工箇所までは、集落内の通行を行わなければならないため道幅も狭く、第三者を巻き込む接触事故交通事故も想定されるため資材搬入時の交通安全確保が課題となりそのため地元住民への工事内容の説明及び協力のお願い。また地域貢献が課題になりました。



協力業者に現場説明及び待避場の位置や危険箇所、通行時における注意点を書いた工事用道路運行マップを作成して打ち合わせ時に配布を行い交通事故防止に努めました。

①地元住民への工事周知の工夫

工事実施にともない地元住民に工事説明を行い工事にご協力をえた。又現場掲示物による工事進捗状況写真掲示及び週間作業内容の表示により工事内容の把握及び協力をお願いしました。



*地元配布用月間作業内容

*工事現場付近の作業工程表示

②奉仕活動

近接する杉崎太江バイパス工事連絡協議会主催の道路清掃奉仕作業の参加施工区間除草作業の実施当工事現場進入路除草作業及び水路掃除等奉仕活動を積極的に行いました。



*杉崎太江バイパス工事連絡協議会主催の道路清掃奉仕*工事工事区間除草作業の実施



*工事現場進入路除草作業及び水路掃除等奉仕活動の実施

5)終わりに

この工事における「安全対策及び創意工夫に」について報告しました。
この工事をおこなうにあたって、地元住民のご協力があった作業が行える事がわかりました。
今後地元奉仕活動及び安全管理の徹底を第一に行い公共事業に対する評価を高めるため努力します。